



■ 令和7年度 厚真町立厚南中学校 教育推進の重点 ■

【身に付けさせたい資質・能力】

- ◆**あいさつ、返事、整理・整頓【不易】**
- ◆**主体性、協働性、実践力【流行】**

自らを律し、他を思いやる心や態度、習慣を身に付けた子供を育てる
自らの人生を切り拓き、共に未来を創り出す力を身に付けた子供を育てる

学校教育目標 知性豊かで実践力のある人 ふれ合いを大切にする人 たくましい体力・気力のある人

重点1 資質・能力の向上

- 子どもが自己調整しながら学びを進め、自立した学習者となるための指導方法の確立・共有・活用
- 運動やスポーツに意欲的に取り組む態度の醸成
- 自己存在感や自己有用感を高める取組の充実

- 小中一貫した「自由進度学習」の更なる推進、それに結びつく家庭学習の深化
- 運動機会の提供による運動習慣の定着（縦割り活動の活用）
- 道徳科を取り入れた小学校や地域に向けた授業参観の実施

重点2 特別支援教育の充実

- 障がいのある子どもの学びの場の保障
- 切れ目のない一貫した指導や支援体制の確立
- 管理職を含む全ての教員の特別支援教育に関する専門性の確保・向上

- 生徒一人一人の教育的ニーズ（エビデンスに基づいた）に応じたきめ細やかな支援・対応の継続（特別支援教育免許の取得）
- 個別の指導計画に基づいた自立活動の指導の展開
- 特別支援コーディネーターを中心とした校内支援委員会と関係機関との更なる連携強化

重点3 生活・学習習慣の確立

- 生活リズムの改善に向けた取組の充実
- 目標設定や振り返り等を基に主体的に家庭学習を進める取組の充実
- 望ましい電子メディアの利活用に向けた啓発の推進

- 健康で安全な生活の保持、向上（委員会活動を活用した日常の健康チェック）
- 家庭学習イコール自分事となるよう自由進型学習の活用
- 電子メディア使用を含めた生活習慣の確立に向けた指導の充実（担当による学期ごとの生活リズムチェック等の活用）

重点4 地域との連携・協働

- 地域の問題解決に向けた行動を実践・発信する機会の創出
- 持続可能な地域づくりに向けた人材を育てるふるさと教育の推進

- コミュニティ・スクールを機能的に活用するための小中学校評価項目の共有
- 地域人材や文化財を活用した学習の推進
- ふるさと教育、英語教育、防災教育の編成・実施

重点5 教員の人材育成

- 北海道における教員育成指標を活用した取組の推進
- 「新たな教師の学びの姿」の実現に向けた取組の促進
- 不祥事根絶に向けた意識の醸成

- 教職員個々のPDCAサイクルの実践力の向上（課題推進シート・運営委員会）
- 面談時におけるキャリアプランへの指導助言とPlantを活用した研修受講の奨励
- 服務規律の徹底を含めた教員に必要な人権意識・倫理観等の資質の醸成

重点6 働き方改革の推進

- 「働きやすさ」と「働きがい」を両立するための学校における働き方改革の更なる加速化
- 北海道アクション・プランに基づく「質の高い学び」と「持続可能な学校」の実現

- 校務DXを活用した校務の効率化の整備と徹底
- 教職員個々のPDCAサイクルの実践力の向上（課題推進シート・運営委員会）
- 「地域展開」へ向けた部活動のあり方について連携・協議
- 地域おこし協力隊との連携、地域人材の活用

学校、地域、社会のウェルビーイングの向上

精選 彻底 継続

役割連携の強化

心理的安全性の確保

重点達成
への鍵



ゴールイメージの共有

エビデンスの活用

短期サイクルの創出

厚南中学校のキー

厚真の未来を語れる子(9年間のゴールイメージ)を目指し、各種活動・調査結果の経年変化・成果・課題を整理・分析する小中連携コーディネーターを小中に配置し、定期的に進捗状況を共有できる体制を作る。

役割連携の強化